

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。町長の宇野一雄でございます。ご家族ともども健やかな新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年中は、愛荘町行政各般にわたり。ご支援・ご協力を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

本年は、新しい町「愛荘町」が発足し10年目の節目の年を迎えます。

この合併は、合併を機会に“地域が自ら考えて行動する”といった21世紀に自立できる地域を築くための基盤づくりでございました。

まちづくりにあたりましては、常に住民目線に立って、将来に夢が持てるまちづくりをコンセプトに、住民と行政との協働によるまちづくりを目指し、あらゆる視点に立ち真剣な論議をお願いするなど、旧町意識から脱却し、全町一体化の基礎づくりに努めて参ったところでございます。

その一つといたしまして、一昨年6月議会において『自治基本条例』を制定いたしました。この条例は、地域課題への対応やまちづくりを誰がどのような役割を担い、どのような方法で決めていくのかを条例化し、自治体の仕組みの基本ルールを定めたもので、条例・規則などの法体系において最上位に位置するものでございます。

また一昨年の10月には、旧秦荘町からの悲願でございました『湖東三山スマートインターチェンジ』が開通し、多いときには1日4,000台の出入りを超え、平均いたしますと1日あたり約3,000台になるなど多くの方々にご利用をいただいております。

このインターを核として「人・モノ・情報」の交流と、にぎわいの輪が広がるまちづくりに取り組むこととしております。

その一つとして、昨年11月に、インターの出入口国道307号線沿いに、愛荘町の活性化施設であり観光情報発信施設と位置づけております『湖東三山館あいしょう』をオープンし、インターをご利用いただく方、また、愛荘町を訪れていただく方、地域の皆様にお気軽にご利用いただける施設を整備したところでございます。皆様にはぜひともお立ち寄りいただければと存じます。

また、昨年には、子育てにやさしいまちづくりの一環といたしまして、中学生までの医療費の無料化を実施いたしました。

その他に、災害に強いまちづくり、高齢者や障がい者など地域福祉の充実、観光振興、農業問題、教育問題などなど課題が山積いたしております。

本年は、このような課題に職員ともども対応して参りたいと考えております。

今後とも、町政に対しまして皆様方のご支援・ご協力を切にお願い申し上げますとともに、皆様方のご多幸とご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成27年1月5日

愛荘町長 宇野 一雄